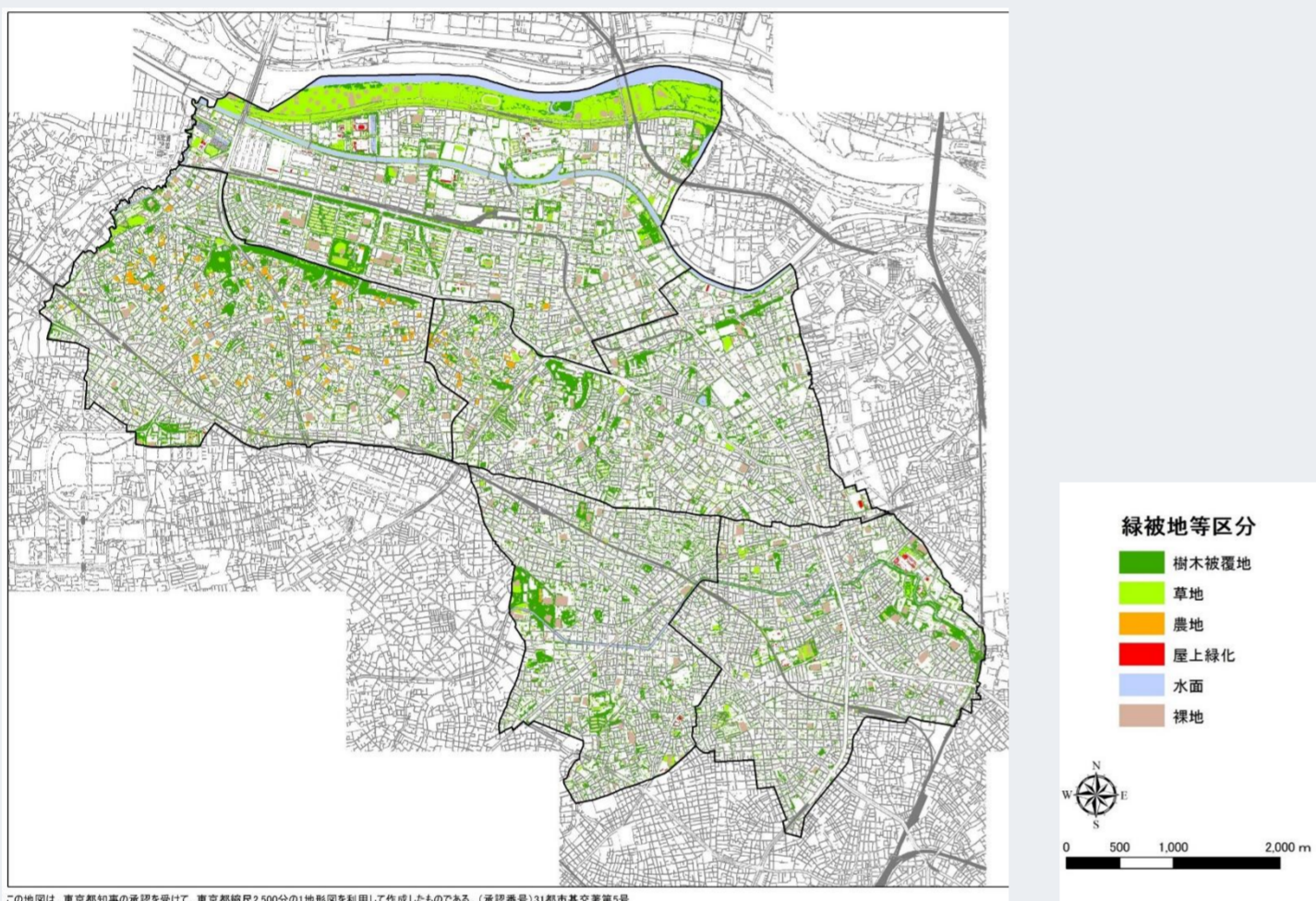


板橋区は、武蔵野台地の面影を残す徳丸・赤塚の樹林地、広大な河川敷を有する荒川、美しい桜並木に彩られる石神井川など、水と緑に囲まれた素晴らしい環境に恵まれています。また、自然環境の骨格を成す地形や植生と合わせ、社会生活と深くかかわりながら育まれてきた農や祭りなどの文化を、長く将来に受け継ぐみどり施策を展開しています。

## 〈緑地・樹木の実態調査の実施しています〉

板橋区の現在のみどりの状況を把握し、今後の緑化行政の基礎資料とするため、5年に一度「緑地・樹木の実態調査」を実施しています。

11回目となる令和6年度は、前回同様デジタル空中写真カメラを仕様して植物に覆われている範囲をデータ化し、前回(令和元年度)調査時と比較により緑化施策の効果を評価できるような調査を実施しています。また、前回に引き続き現地調査等も行い、経年変化を把握しています。



板橋区緑地・樹木の実態調査(X)(令和元年度実施)

## 〈赤塚植物園の指定管理者制度導入〉

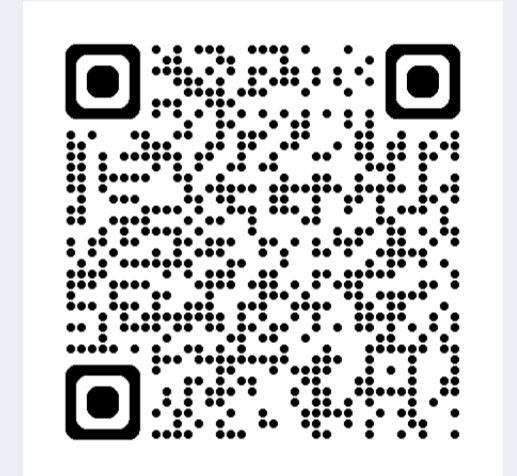
赤塚植物園は、武蔵野の面影を色濃く残す赤塚の丘陵地を活用し、自然や植物がより身近なものとして親しむことができる施設として、1981年(昭和56年)10月に開園しました。

そして現在、武蔵野の面影を残した樹林地を保全することによる「存在価値」の享受や、植物園としての緑化知識の普及、意識の啓発といった「利用価値」を高める事を目的として事業の運営を行い、板橋区における重要な緑の情報の発信拠点となっています。

令和7年度より指定管理者制度を導入し、赤塚植物園の価値を集約し更に高めると共に、赤塚地域の昔からある里山資源や新たな文化要素を取り入ながら様々な事業を行うことで、「循環型社会」を意識した里山緑地を創出し、人々が体験により気づきや学び、喜びが得られる、より魅力的な植物園としていきます。



赤塚植物園



区HP

## 〈高島平緑地の再整備におけた取り組み〉

高島平緑地は、昭和40年代の高島平地域の開発に合わせて作られた緩衝緑地帯で、平成初頭以降大規模な改修を行ってこられず、魅力やにぎわいに欠ける等の課題を抱えています。

令和6年度は、高島平緑地の再整備に向けたアンケートおよび高島平緑地内での滞在空間を創出するイベントを計5日間実施し、「高島平の自慢となるみどり豊かな居場所」としていくため、具体的な再整備の内容検討を進めています。

### 滞在空間確保の実証実験の実施

#### 目的

- ①滞在中の空間づくりが求められている
- ②利用可能な場所として印象づける必要がある
- ③高島平緑地を管理・活用する地域の担い手を探したい
- ④高島平緑地に実際に利用する人の意見を吸い上げたい

#### STEP1

「おえかき&シャボン玉」9月29日・11月16日…②  
特に子どもが遊べる場所として認識されていない現状を踏まえ、小さいお子様と保護者を対象とした遊び場を提供し、認知度の向上を図る。

#### STEP2

「芝生ひろばでピクニック」10月26日…①・②  
対象は絞らず、おいしい食べ物、くつろげる芝生ひろば、絵本を用意し、滞在に特化した空間を提供することで、滞在中に必要な仕掛けや要素を探る。

#### STEP3

「秋空ピクニック」「夜までりよくち満喫」11月17・23日(16日)…①・②  
STEP2に加えて、地域の商店の出店やトークセッションを開催し、より地域を巻き込んだ内容とする。③・④  
夜間利用・火気使用など、普段とは異なる緑地の利用について検討する。

#### 当日の様子

##### STEP1 「おえかき&シャボン玉」



##### STEP2 「芝生ひろばでピクニック」



##### STEP3 「夜までりよくち満喫」

